

私たちは、これからの社会を
どう捉えていくべきか――。

価値観が大きくシフトした今、
「繊維」と共に歩んできた私たちもまた、
イノベーションが求められています。

持続可能な世の中のために、
私たちができることを一歩一歩。

ともに創造し、讃えあい、
次の世界を形づくる
実りある社会の実現を目指します。

YAGI
Heritage to the future
証券コード：7460



株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループを取り巻く事業環境は、企業収益や雇用・所得環境の改善、前期から続くインバウンド需要の継続などを背景に緩やかな回復基調で推移しました。一方で、世界的な政情不安や経済減速の懸念、長期化する為替変動や物価上昇などの影響により、依然として不透明な状態が続いております。

このような経営環境のもと当社グループは、2026年3月期を最終年度とする3カ年の中期経営計画2026「Heritage to the future」の2期目として、持続的成長の基盤づくりに注力し、「事業」「グローバル」「グループ経営」「人材」「ESG」の5つを基本戦略として取り組んでまいりました。中でもグローバル市場への展開を重点戦略の一つとして位置づけ、現地法人の設立などを通じて、海外市場での事業基盤の強化と成長機会の創出に取り組んでおります。この結果、2025年3月期の業績は前年同期比で増収増益となり、経常利益及び当期純利益は過去最高を更新いたしました。

配当につきましては、この結果を踏まえ、期末配当を前期より27円増配の90円とさせていただきます。

また、株主還元方針につきましては、安定した配当の継続と、経営基盤の強化に必要な内部留保をバランスよく実施していく方針は維持しつつ、2026年3月期から更なる資本効率の向上と最適な資本配分の実施を進めることで、2026年3月期以降は配当性向35%以上の配当を基本方針とし、長期的な企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、なにとぞ一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

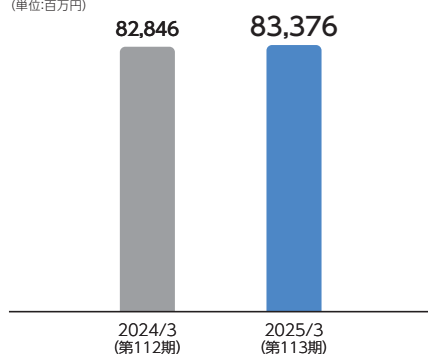
2025年6月



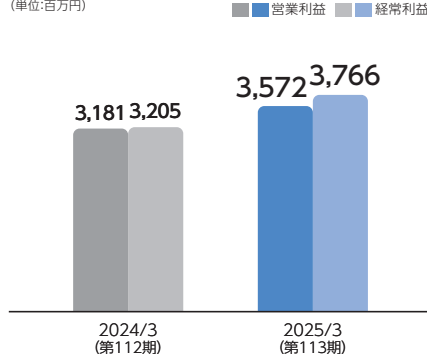
代表取締役
社長執行役員 **八木隆夫**

財務ハイライト(連結)

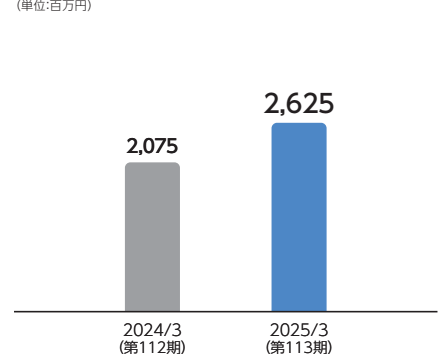
売上高
(単位:百万円)



営業利益・経常利益
(単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益
(単位:百万円)



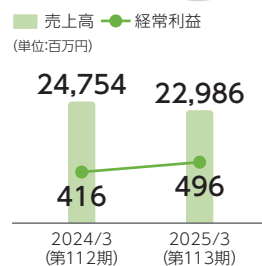
セグメント別の概況

マテリアル事業



中国、東南アジア等からの輸入製品の依存が高くなったことで、国内製品の需要が減少しました。こうした中、天然繊維については、引き続き国内産地の需要が減退したことなどにより売上高は減少しましたが、在庫水準の適正化を進めたことなどにより利益は増加しました。合成繊維については、車両関連素材は取引先の在庫調整などにより売上高が減少しましたが、作業手袋関連素材の販売数量増加や高付加価値商材の販売拡大が利益の増加に貢献しました。また、生地については、海外販売などの増加により売上高が伸長したことに加え、仕入コスト上昇分の適切な価格転嫁や在庫水準の適正化が進み増益となりました。

この結果、売上高は、22,986百万円(前期比7.1%減)、セグメント利益(経常利益)は496百万円(前期比19.1%増)となりました。

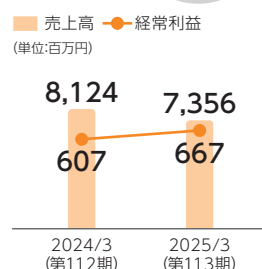


ライフスタイル事業



主力であるダストコントロール商材については、新製品供給の一巡による生産調整の影響が長引いたことで売上高は減少しました。一方、タオルや化粧雑貨などの生活資材については、為替の影響で苦戦したものの、製造コストの見直しや価格改定を行いながら、高付加価値商材の販促を進めたことで利益の増加に貢献しました。

この結果、売上高は7,356百万円(前期比9.5%減)、セグメント利益(経常利益)は667百万円(前期比9.9%増)となりました。

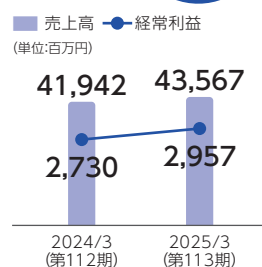


アパレル事業



インバウンド需要の継続や賃上げなどが国内需要を下支えし、アパレル市場における消費意欲は底堅く推移しました。こうした中、主力であるOEM事業については、主要な取引先への提案や取り組みの深耕を図り、中高価格帯の商材取り扱いに注力したことにより、売上高は増加しました。また、円安の影響が長引いているものの、生産背景の集約や仕入先との関係構築により原価や物流経費などのコスト削減に取り組むなど効率化を図ることで利益についても増加しました。

この結果、売上高は43,567百万円(前期比3.9%増)、セグメント利益(経常利益)は2,957百万円(前期比8.3%増)となりました。

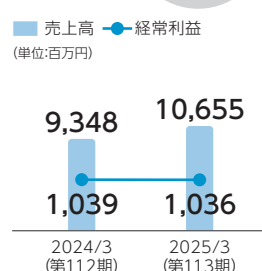


ブランド・リテール事業



年間を通して天候要因の影響がありましたが、円安によるインバウンド需要は継続している中で、新規出店や商品カテゴリの拡充などに努めました。こうした中、主力であるブランド事業については、旗艦店を含む新規出店店舗が好調に推移したことに加え、適正な販売価格の設定及び在庫水準の見直しによる機会損失の低減などにより売上高は増加しました。

この結果、売上高は10,655百万円(前期比14.0%増)、セグメント利益(経常利益)は1,036百万円(前期比0.3%減)となりました。



(※売上高構成比はこの他に、不動産事業1%があります。)

配当について

配当につきましては、長期的な視野で安定した利益還元と、経営基盤強化のための内部留保の充実をバランスよく行っていくことを基本方針としております。当基本方針に基づき、当期末配当金は1株につき90円とさせていただきます。

また、次期以降につきましては、上記基本方針を維持しつつ、更なる資本効率の向上と最適な資本配分の実施を進めることにより配当性向35%以上の配当を基本方針とし、次期の期末配当金につきましては1株につき111円を予定しております。

持続可能な未来への想いをこめた素材ブランド 「ユナ・イト(UNITO)」プロジェクトの展示会を初開催

当社がこれまでに展開してきた環境配慮型素材ブランドをリブランディングする「ユナ・イト(UNITO)」プロジェクトを昨年からスタートしていますが、本年3月にユナ・イト プロジェクトを幅広く紹介する展示会を初開催しました。

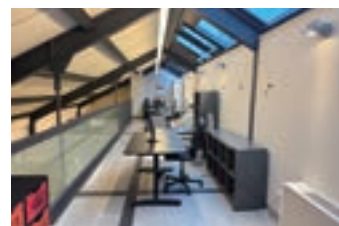
オーガニックコットン「ユナ・イト オーガニック」とリサイクル100%を追求したコットン素材「ユナ・イト リサイクル 100」、ペットボトル由来のリサイクル糸に、北陸の技術力を掛け合わせることで生まれた「ユナ・イト ポリエステル」、リサイクルポリエステルにテクノロジーを掛け合わせて、様々なニーズに応える高機能糸「ユナ・イト プラス」、日本を代表する合繊テキスタイル産地である北陸の技術力を活用したリサイクルナイロン「ユナ・イト ナイロン」、という5つのラインに集約した展示を行いました。

UNITOは「サステナばらなサステナブル」を掲げ、環境負荷の軽減や生産者の支援など、それぞれの素材の特性に応じた本質的な「サステナブル」を追求してまいります。「言葉ではなく、行動とモノ作りで未来を変えていく」ことを目指した取り組みです。



ヤギグループの新拠点をイタリアとインドに開設

現在、当社は中期経営計画 2026「Heritage to the future」を推し進めており、持続的成長の基盤づくりを強固にすべく、「事業」「グローバル」「グループ経営」「人材」「ESG」の5つを基本戦略とし、グループ一丸となって取り組んでおります。中でも最重要課題であるグローバル戦略に特に注力し、世界各地で様々な活動をスタートしています。本年1月にはイタリア・ミラノ、3月にはインド・グルガオンに新拠点となる法人を設立しました。イタリアに拠点を構えることで、多様な価値観と歴史を持つヨーロッパ市場のニーズを的確に捉えた事業活動を推進し、当社ビジネスのグローバル展開を後押しする役割を目指します。また、インド拠点を活用し、当社の経験を元に生産背景を確立させ、インドで開発した商品を日本、ヨーロッパ、アメリカ、ASEANの各地域に向けて販売することを目指します。更に、インド国内マーケットへの販売拠点としての役割も持つ予定です。



TATRASが東京・銀座に旗艦店をオープン

当社グループ会社の株式会社WEAVAは、基幹ブランド「TATRAS」の旗艦店を昨年11月、東京・銀座にオープンしました。内装はTATRASが作るダウンジャケットにも当てはまる、コントラストの美をテーマに、石や木などの自然物と、コンクリート・ステンレスなどの人工物とを組み合わせたデザインで設計されています。ブランドの背景にあるイタリアと日本の融合を意識したクリーンでモダンな店内には、日本の伝統工芸品である「朝日焼」の一点ものの作品が複数飾られると同時に、TATRASのアイコン的なダウンジャケットをアートに捉えて作成したオリジナルの什器もディスプレイされ、アートギャラリーのような空間にて、ブランドの世界観を堪能いただけます。メインフロアとなる1階はメンズ・レディースアイテムを揃え、ゆったりとリラックスできる空間、2階はレディース、地下1階はメンズアイテムを中心とした3フロアにて、TATRASの人気アイテムから最新コレクションまで、フルラインナップにて展開されています。



株式会社WINWIN YJVが運営するストア「NIKE SHIBUYA」がオープン

当社が韓国のスポーツアパレル小売企業であるWINWIN SPORTS社と共同出資して設立した、株式会社WINWIN YJVが運営するストア「NIKE SHIBUYA」が昨年12月にオープンいたしました。「NIKE SHIBUYA」は単なるストアではなく、コンシューマーが必要とするプロダクトやサービスを提供し、毎日をアクティブにスポーツを楽しむことをサポートできるようにデザインされています。「NIKE SHIBUYA」では、あらゆる年齢層のアスリート（メンズ、ウィメンズ、キッズ）を対象に、ナイキとジョーダンの最新のスポーツパフォーマンスフットウェアとアパレル、そしてライフスタイルプロダクトを取り揃えています。今後も株式会社WINWIN YJVは、NIKEとの強いパートナーシップとNIKEに対する深い理解を持ち、様々なサービス提供を通して、お客さまの健康と幸せ、生活の質向上を目指していきます。



当社のコーポレートサイトをリニューアルしました

本年1月にコーポレートサイトの全面リニューアルを行いました。

当社の経営理念とVISIONをわかりやすく表現しながら、サイト来訪者の皆様に必要な情報を届けるためのユーザー目線の設計と、当社らしさを活かしたデザインに一新しました。

今回のリニューアルでは、サイトを訪問された皆様が当社の事業内容やIR情報について、視覚的により分かりやすいサイトにすることを目指し、画像や動画を充実させて制作しました。また、当社に関わる様々な情報を定期的に配信する「YAGI CREATIVE HUB」を新たに設置。グローバルなアクセスを意識して、英語サイトのメニューも従来より更に充実しました。

サイト来訪者のニーズに合わせ、当社の事業の特徴や企業価値を整理し、事業別のターゲット、顧客ニーズ、提供価値を分かりやすく表現することで、当社の特色を反映した構成にしています。



健康経営優良法人3年連続認定

経済産業省及び日本健康会議が実施する健康経営優良法人認定制度 において、「健康経営優良法人2025」大規模法人部門 に認定されました。当社が健康経営優良法人に認定されるのは3年連続となります。当社では、新たな未来を育む社員とその家族の健康を第一に考える「健康経営」を当社の最重要の経営課題と認識し、「健康でイキイキと働く環境を構築する」を当社の「VISION」に掲げています。このVISION達成のため、当社グループのサステナビリティ方針に対する具体的な成果指標・数値目標を設定し、活動を推進しています。

当社は今後も「健康経営」を最重要の経営課題と捉え、従業員やその家族の健康増進により一層努めるとともに、事業を通じて地域と社会に貢献してまいります。

※健康経営は、NPO 法人健康経営研究会の登録商標です。

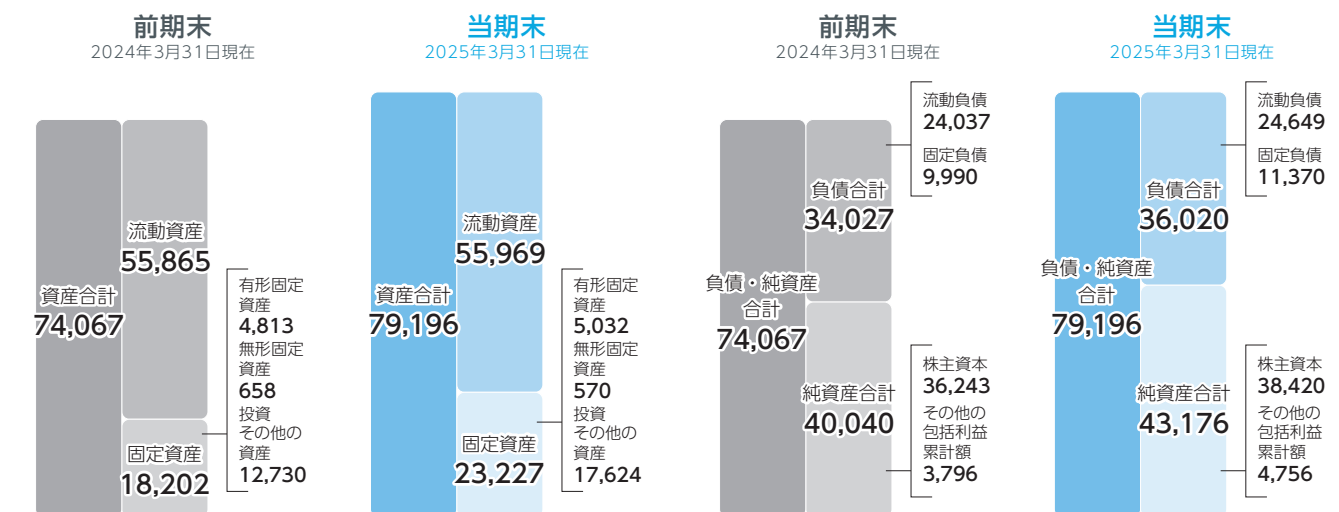


連結財務データ

● 連結貸借対照表

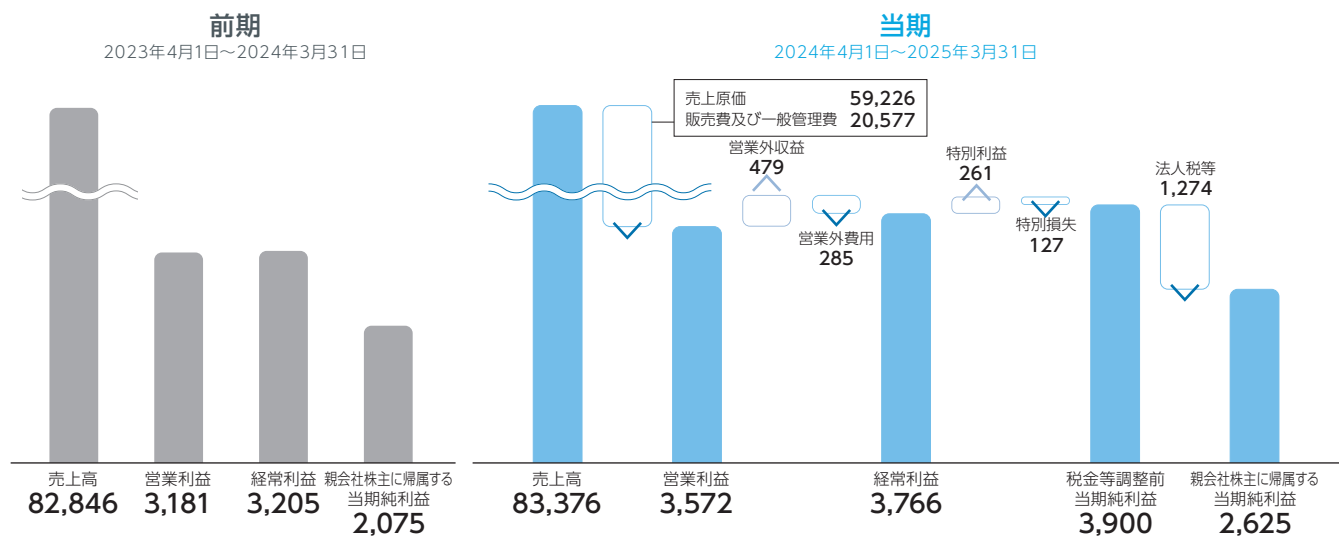
資産の部 (単位:百万円)

負債・純資産の部 (単位:百万円)



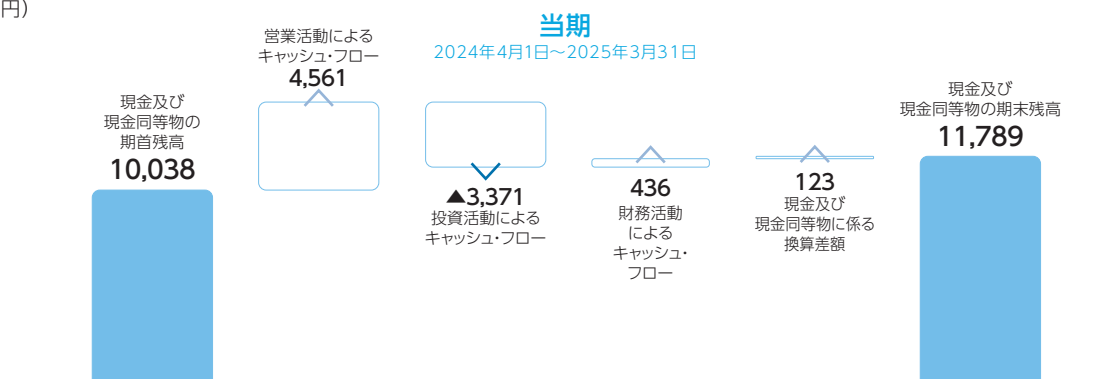
● 連結損益計算書

(単位:百万円)



● 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)



詳しくは当社ウェブサイトをご覧ください <https://www.yaginet.co.jp/ir/>

ヤギIR

検索



会社概要

(2025年3月31日現在)

会社の概要

社名	株式会社 ヤギ
英文社名	YAGI & CO.,LTD.
創業	1893年(明治26年)10月16日
設立	1918年(大正7年)4月28日
資本金	1,088百万円
主な事業内容	綿化繊維糸、合繊維糸、綿化繊維物、合繊維物、ニット生地及び衣料品等の各種繊維二次製品の国内販売ならびに輸出入
主要な事業所	(国内)大阪本社 大阪市中央区久太郎町二丁目2番8号 東京本社 東京都中央区日本橋小網町18番15号 支店 福井(福井市) 出張所 名古屋(名古屋市) 営業所 和歌山(和歌山市) (海外)駐在員事務所 上海(中国) ホーチミン(ベトナム) ハノイ(ベトナム) ダッカ(バングラデシュ)

役員一覧 (2025年6月27日現在)

代表取締役	社長執行役員	八木隆夫
取締役	専務執行役員	山岡一朗
取締役	常務執行役員	三橋大作
取締役	常務執行役員	藤本貴史
取締役	上席執行役員	八木靖之
取締役	上席執行役員	長戸隆之
取締役		玉巻裕章
取締役	(常勤監査等委員)	山本浩志
取締役	(監査等委員)	池田佳史
取締役	(監査等委員)	小山茂和
取締役	(監査等委員)	栗山由美

(注)取締役玉巻裕章、池田佳史、小山茂和及び栗山由美は、社外取締役であります。

株式の情報

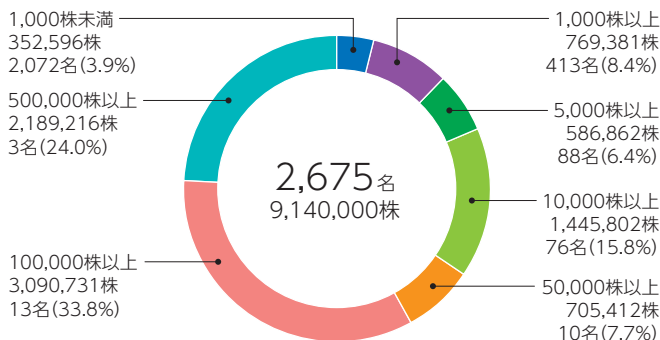
(2025年3月31日現在)

発行可能株式総数	45,568,000株
発行済株式の総数	9,140,000株
株主数	2,675名
大株主(上位10名)	

株主名	持株数	持株比率
ヤギ共栄会	939(千株)	10.98(%)
清原 達郎	666	7.79
株式会社みずほ銀行	410	4.80
株式会社三井住友銀行	380	4.44
立花証券株式会社	310	3.63
株式会社三菱UFJ銀行	305	3.56
八木 隆夫	297	3.48
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	257	3.00
第一生命保険株式会社	250	2.92
ヤギ従業員持株会	229	2.68

(注)持株比率は自己株式(582,516株)を控除して計算しております。なお、当社は「従業員向け株式交付信託(RS信託)」制度を導入しており、本制度に係る信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託口)が所有する当社株式173,200株は、自己株式に含めておりません。

所有株数別分布状況



(注)本報告書中の記載金額及び株式数は表示単位未満の端数を切り捨てております。

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日までの1年

定時株主総会の
基準日 3月31日

剰余金の配当の
基準日 期末配当 3月31日
中間配当を行うときは9月30日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031(フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

公告の方法 電子公告とし、当社ウェブサイトに掲載いたします。なお、電子公告によることができない
事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。
ウェブサイト
<https://www.yaginet.co.jp/ir/announce.html>

【住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について】

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

【未払配当金の支払いについて】

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。